



国立国会図書館とけいはんな記念公園 活動記録 B グループ 大石(記)

1: 日時 2025年12月11日(木) 9時50分 JR学研都市線・祝園駅 集合

2: 参加者数 25名

3: 天候・気温 曇り時々晴れ・12°C

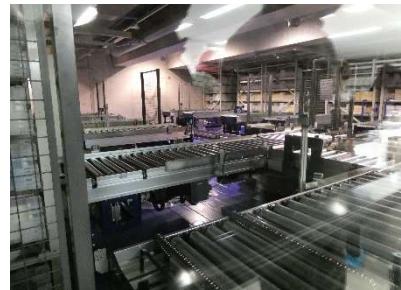
4: 内容

●午前の部 国立国会図書館 関西館の見学 (場所: 京都府相楽郡精華町)



★当日のガイド役の職員さんから施設の説明のプレゼンテーションが20分程あり、その後施設の見学

- ・国立国会図書館・東京本館の蔵書収容能力は限界になり大規模な書庫スペースを確保することと情報化に対応した「電子図書館」の機能を持つことの2つを目的として関西館が2002年に建設。
- ・国立国会図書館は「中央の図書館」および「支部図書館」で構成され「中央の図書館」は東京本館と関西館。関西館は東京本館の別館や分館というわけではない。「支部図書館」は各地にある。
- ・建物は建築家の陶器二三雄設計で、2004年に日本建築学会賞を受賞している。2019年度竣工とする第2期施設竣工。現在も収納などの作業が続く。
- ・登録を完了した18歳以上の利用者向けに無料で閲覧などのサービスを提供。利用者は、地階にある総合閲覧室とアジア情報室の二つの閲覧室で閲覧を行うことができる。
- ・国内の刊行物は基本的にすべて保管。収納数は約2千万点、海外はアジア関連刊行物に力を入れる。



★施設見学・・・ガイドさん2名から1名に変更。24名がひと固まりで移動

本館2F・研修室⇒本館B1F・閲覧室⇒本館B3F・書庫⇒本館B2F・書庫⇒書庫棟に移動 B2F⇒書庫棟・B1F⇒本館2F・研修室に戻る。

(感想)膨大な書籍、刊行物を効率的に保管されている。印刷物が増え続ける中、電子化は必須を感じた

★本館4Fのカフェテリアで昼食



●午後の部 けいはんな記念公園・水景園 散策

- ・水景園はけいはんな学研都市の文化の拠点としてつくられた日本庭園。自然と人が織りなす空間を様々な距離・角度で楽しめるのが特徴。ダイナミックな石組や各所に流れる滝、季節を彩る風景、コイのエサやり。
- ・下見（3週間前）では、紅葉真っ盛りで楽しめたが、活動当日は紅葉は終わり、また目玉の観月橋も工事で歩く事が出来ず、残念でした。池が意外と奥行きがあり、ウォーキングには適当な距離でした。
- ・天気は良く、風もほとんどなかったので、自然を感じる息抜きの散策になったかと思います。春の桜、秋の紅葉の時期に是非、再訪ください。少し遠いですが・・・



橋はカバーが被せられ残念な状態でした

（以下は下見時の写真）

